

「新しい地方税源と地方税制を考える研究会」の設置について

○ 設置目的

地方が責任をもって、地方創生・人口減少対策をはじめとした地方の増大する役割に対応するため、地方分権を支える基盤は地方税であるとの観点から、地方税の充実のために新しい地方税源及び地方税制について幅広く検討するため、全国知事会地方税財政常任委員会に「新しい地方税源と地方税制を考える研究会」を設置する。

○ 検討事項

魅力あふれる地域づくりのため、訪日外国人旅行者の大幅な増加等への対応、環境負荷軽減や循環型社会実現に向けた3Rの推進、IT社会の進展を踏まえた取組みなど、地方が新たな行政需要に対応するための財源としての新たな税源と地方税制について幅広く検討する。

○ 設置・検討スケジュール

- ・平成28年12月 設置
- ・平成29年度中 中間とりまとめ

○ 研究会構成委員 (敬称略・五十音順)

- 青木 宗明 (神奈川大学経営学部 教授)
- 井手 英策 (慶応義塾大学経済学部 教授)
- 神野 直彦 (東京大学 名誉教授)
- 関口 智 (立教大学経済学部 教授)
- 谷 隆徳 ((株)日本経済新聞社 編集委員兼論説委員)
- 沼尾 波子 (日本大学経済学部 教授)
- 半谷 俊彦 (和光大学経済経営学部 教授)
- 星野菜穂子 (和光大学経済経営学部 教授)
- 吉村 政穂 (一橋大学大学院国際企業戦略研究科 准教授)